

技術の伝承と健康

日本技術士会中国本部（中区鉄砲町、大田一夫本部長）は十日、「平成二十九年度建設部会例会・定期講演会」を開催した。



建設部会（森山利夫部会長）は、二十七年に同本部設立五十周年を記念して発足。安全で元気な地域づくり等を目的に活動している。「技術の伝承

と健康」と題した講演会は、身近な素材で土木の面白さを伝える方法や、翠清会の梶川博会長から活力低下に関する講演があり、盛況だった。

大田本部長の写真は、「土木工学は経験工学。八十歳まで頑張る技術者もいる」と話した。新興国のインフラ整備等で、日本人技術者の活躍を耳にする事がある。こうした地道な活動の成果と言えるのかも知れない。

藤井基礎の社長ら語る

建設部会が講演会、例会も

日本技術士会中国本部

あこがしめる
森山部会長



定期講演会のもよう

(公社)日本技術士会中国本部(大田一夫本部長)の建設部会(森山利夫部会長)が主催する「平成29年度定期講演会」が10日、広島市中区袋町のまちづくり市民交流プラザで開かれ、約80人あまりが参加した。

開会挨拶で森山部会長は「近年の社会状況をみると、自然災害の激甚化や社会インフラの老朽化などの問題を抱え、これらにいかに対応していくかが、われわれ建設技術者に強く求められている。その中で、中心になって活躍しなければならぬのが、われわれ

建設部門の技術士だと思っっている。本日は、3名の講師にご講演してもらう。さまざまなノウハウを学び、有意義な時間を過ごしてもらえればと考えている」と述べた。

続いて挨拶に立った大田本部長も、講演会内容を説明しながら「技術士会は、技術士・技術者の社会的地位向上と、広く社会への貢献を目的としているが、土木のイメージアップ、それに伴う担い手の育成等にも、本日主催の建設部会を中心に貢献するのが使命であると考えている」と話した。

このあと、(株)藤井基礎設計事務所の藤井俊逸社長が「模型で伝える土木の面白さ」、医療法人翠清会(梶川病院)の梶川博会長が「活力低下を感じていませんか?知っておきたいフレイル」岡山大学大学院環境生命科学研究科の西垣誠特任教授が「地盤の自然災害と地下水災害から人命を守る夢」を演題にそれぞれ講演。この中で、藤井社長は「興味がわく説明方法や伝える場の工夫などが重要」と訴えた。

また、当日は定期講演会に先立ち、建設部会の平成29年度例会も同所で開催された。例会では、28年度の事業報告や29年度の事業計画などを説明。29年度の事業計画では、この日の定期講演会以外に、現場見学会やWeb中継講演会などを企画していることを報告した。このほか、中国本部が10月20日から23日まで山口市内で「第44回技術士全国大会」を開催することを紹介、積極的な参加に理解と協力を求めた。

また、当日は定期講演会に先立ち、建設部会の平成29年度例会も同所で開催された。例会では、28年度の事業報告や29年度の事業計画などを説明。29年度の事業計画では、この日の定期講演会以外に、現場見学会やWeb中継講演会などを企画していることを報告した。このほか、中国本部が10月20日から23日まで山口市内で「第44回技術士全国大会」を開催することを紹介、積極的な参加に理解と協力を求めた。